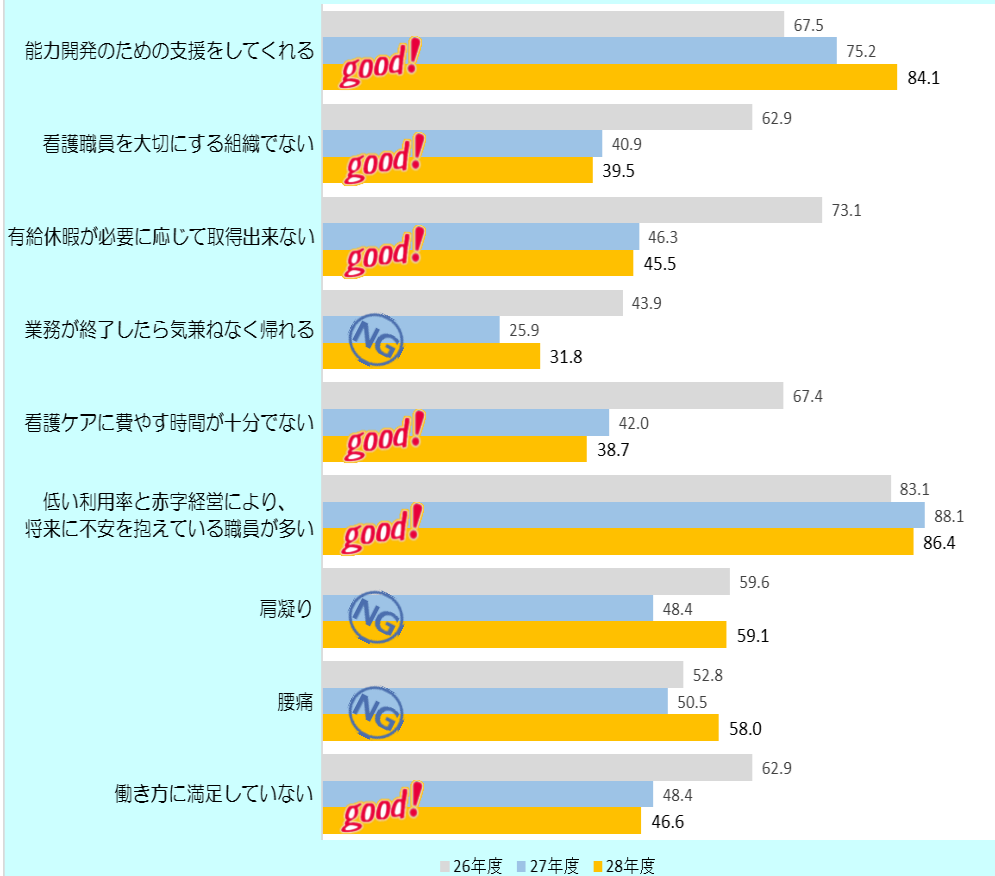




ワークライフバランスとは、「仕事と生活の調和」を意味し、「一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことをいいます。

先日皆様にご協力いただいた、インデックス調査の集計結果が届きましたので、主な課題について、過去三年分の比較をしました。



前回、将来に対し不安を抱えていた職員は増加していましたが、今回は改善されていました。肩凝り・腰痛については、前回より悪化しています。皆ひとつづつ年取ったってことも？ また、業務が終了しても帰宅しにくいと感じている部署が、あるようです。

8月20日、青森市・県民福祉プラザにおいて、青森県看護協会による「平成28年度看護職のワーク・ライフ・バランス推進フォローアップワークショップ」が行われ、澤田委員が発表してきました。

内容は、参加3年目の取り組み状況や、左記のインデックス調査の結果について、作成したスライドをもとに、報告しました。



本日の報告内容

- 今年度アクションプラン進捗状況について
- 今年度のインデックス調査の結果

3年
2年
1年

今年度インデックス調査の結果

「仕事と生活を両立し、やりがいを持って働くことのできる職場を目指す」

3年後のゴール

- 働き方の満足度向上 (満足率の向上) 46.0%
- 看護ケアに十分な時間取得 (休日の確保) 59.7%
- 業務終了後は気兼ねなく帰れる (帰りにくい) 31.8%
- 有給休暇の消化率向上 (消化率の向上) 31.8%
- 業務終了後は気兼ねなく帰れる (帰りにくい) 31.8%
- 有給休暇の消化率向上 (消化率の向上) 31.8%
- 業務終了後は気兼ねなく帰れる (帰りにくい) 31.8%

♥ 一病棟・休憩室の改修工事、終了しました ♥

狭かった一病棟休憩室が、改修されました。広さが1.5倍になり、とても快適です！

ご協力いただいた皆さん、大変ありがとうございました ♥

(一病棟スタッフ一同)

